

【添付資料】出演者プロフィール



琉球交響楽団室内オーケストラ（管弦楽）

2001年3月「琉球交響楽団設立コンサート」を開催。定期演奏会や小中高等学校での音楽鑑賞会の他、0歳児からのコンサート、琉球芸能とのコラボレーション、沖縄県内離島公演を積極的に行っている。2016年大友直人が音楽監督に就任。2017年、全国共同制作オペラ プッチーニ:歌劇「トスカ」沖縄公演において管弦楽演奏を務め好評を博した。2022年6月には沖縄復帰50周年記念特別公演として東京公演、大阪公演を開催。聴衆とのふれあいを大切に、県民に親しみ愛され、国際色豊かな沖縄県の顔となる交響楽団を目指し活動している。2005年ファーストアルバム「琉球交響楽団」、2020年セカンドアルバム「沖縄交響歳時記」をリリース。第19回宮良長包音楽賞受賞。



小崎雅弘（指揮）

東京生まれ。幼少よりヴァイオリンを学び、合唱・ブラスバンドの指揮を経て国立音楽大学に入学。在学中より本格的な指揮活動を開始し、モーツァルト「魔笛」を指揮しオペラデビュー。その後、新国立劇場、藤原歌劇団、二期会、びわ湖ホール等を中心にオペラの指揮に関わり内外の指揮者のアシスタントを務め、そのレパートリーは60本を越える。これまでに東京フィル、神奈川フィル、名古屋フィル、山形交響楽団、九州交響楽団等のオーケストラに客演。またミュージカルの分野では1991年から2シーズンにわたり劇団四季の「オペラ座の怪人」を200回以上指揮。指揮を高階正光、ピアノを永井宏の各氏に師事。東京藝術大学オペラ科講師。



PUFFY 大貫亜美・吉村由美（ゲスト）

1996年、奥田民生プロデュースによるシングル「アジアの純真」でPUFFYとしてデビュー。その後、「これが私の生きる道」「サーキットの娘」「渚にまつわるエトセトラ」etc 次々とヒットを連発。全米NO.1アニメチャンネルである「カートゥーン・ネットワーク」にて、彼女たちを主人公にしたアニメ番組「ハイ!ハイ! パフィー・アミユミ」が世界110カ国以上で放送されるなど、日本のポップ・アイコンとして、世界を舞台に活動。

今年5月にデビュー29周年を迎え、30周年へ向け現在「Road to 30」と銘打ったライブを各地で開催中。



下地美波（ゲスト）

宮古ポップスシンガー。中学1年ダンスユニット「パニパニガールズ」でデビュー、アルバム1枚シングル4枚リリース、島内外で活動。その後、高校1年からRBCiラジオ「わいわいワイドー」のパーソナリティーを務めている。また下地暁のサポートメンバーとして活動する傍ら、2020年角松敏生プロデュース・ソロシングル「あなたに届けたい」「宮古ブルーの風」をリリース。2024年1月18日には、角松敏生プロデュース「愛しゃ~kanashya~」をリリース



友利あつ子（ゲスト）

武蔵野音楽大学声楽科卒業。同大学院修了。新国立劇場では多数オペラ出演。ヘンデル『メサイア』、バッハ『口短調ミサ』、ハイドン『四季』や第九のソリストとしても活躍する。中村透作曲 南城市市制施行10周年記念オペラ『あちゃーあきぬ島〜南城幻想曲〜』官女役出演。琉球交響楽団創立20周年記念コンサートに出演。金井喜久子作品及び編曲作品を千葉と沖縄で開催。木下牧子作曲 音楽劇「蜘蛛の糸」を演奏。昨年、「中田喜直生誕100年 コンサート」をなは一とで行う。中城城において演奏会形式野外オペラ「ラ・ボエーム」に出演。東京二期会会員、開邦中学校・高等学校音楽非常勤講師。



空馬良樹（司会）

NSC 東京校 5 期出身。2011 年 4 月「あなたの街に住みますプロジェクト」が開始した際には、初代沖縄県住みます芸人を担当。よしもと沖縄に所属する芸人たちの兄貴分として、TV・ラジオ・イベントなど様々な分野で活躍。特に司会としての定評が高く、スポーツイベント・学園祭・シンポジウム・企業パーティー・披露宴など、依頼多数。趣味は子育て、漫画(三国志)、映画鑑賞、人と話すこと。特技はバレーボール、バスケットボール、コザガイド。